

第15回寒地道路連続セミナー「第12回 PIARC 国際冬期道路会議／ 第13回 SIRWEC 国際道路気象会議 参加報告会」を開催しました

寒地道路研究グループ

平成18年3月27日～30日にイタリアのトリノ市他で第12回 PIARC 国際冬期道路会議が、またそれに先だって3月25日～27日に第13回 SIRWEC 道路気象会議が開催されました。これらの会議では、最新の冬期道路に関する研究開発や政策評価に関する発表、技術展示、テクニカルツアーなどが行われました。これらの会議に、寒地道路研究グループから12名が参加する機会を得ましたので、両会議の参加報告会として、4月27日に第15回寒地道路連続セミナーを開催しました。

セミナーは、寒地道路研究グループ小笠原グループ長の開会挨拶で始まり、続いて雪氷チーム加治屋安彦上席研究員がPIARC 国際冬期道路会議／SIRWEC 道路気象会議の概要と意義について紹介しました。続いて、PIARC 国際冬期道路会議での発表の概要を寒地交通チーム高橋尚人総括主任研究員、雪氷チーム松沢勝総括主任研究員、寒地道路保全チーム石田樹総括主任研究員が報告しました。

また、PIARC 国際冬期道路会議における展示・テクニカルビジットやイベントなどの模様を寒地道路保全チーム千葉学研究員が報告し、最後に、SIRWEC 道路気象会議の概要について雪氷チーム伊東靖彦主任研究員が報告を行いました。

セミナーには、行政機関や研究機関、コンサルタントをはじめとする民間企業などから約70名の参加をいただき、熱心な質疑応答・意見交換が行われました。



写真 セミナーの様様（左から：会場の様子、寒地道路研究グループ小笠原章グループ長、雪氷チーム加治屋安彦上席研究員、寒地交通チーム高橋尚人総括主任研究員）



写真 セミナーの様様（左から：雪氷チーム松沢勝総括主任研究員、寒地道路保全チーム石田樹総括主任研究員、寒地道路保全チーム千葉学研究員、雪氷チーム伊東靖彦主任研究員）

（文責 高橋 尚人）